

<特集：私の Eureka!>

「特集：私の Eureka！」

編集小委員会：原子燃料工業(株) 山本章夫

a-yama@nfi.co.jp

研究者の醍醐味のひとつは、新しい手法や、困難な問題に対する解決の糸口を思いつくことであろう。実際、古今東西、この種のエピソードには事欠かない。例えば、アルキメデスが風呂に入ったときに浮力の概念を発見して喜びのあまり「Eureka!」と叫びながら裸で外に走り出した、というのは有名な話である。

先人たちがこのような発見をしたのは偶然ではない。それぞれが問題を抱え、それを考え続けていたからこそ、日常の些細なことがその解決につながったのであろう。

今回の特集は、「私の Eureka!」と題し、炉物理の研究に関連した上記のようなエピソードや研究に取り組んだ経緯を語っていただくこととした。本来、Eureka!の喜びは、研究者にとって強い動機付けになるはずであるが、残念ながら論文には記載することが難しい場合もあり、表にはなかなか出てこない。このような Eureka!はそれ自体が貴重な知識になることも多いと思われるが、これだけを集めたものというのは、あまり例が無いようである。

御願っていた原稿が集まったとき、私はその生き生きした内容に目を見張った。通常私たちが読む他人の著作物～いわゆる論文～にはない切り口から研究をとらえているものが多く、それだけに極めて示唆に富んだ内容にもなっている。

今回の特集にご協力いただいた研究者の方々に改めて御礼を申し上げたい。執筆者の方々を以下に示す。

板垣 正文	北海道大学大学院工学研究科
宇根崎 博信	京都大学原子炉実験所
岡嶋 成晃	日本原子力研究所
小坂 進矢	(株)テプコシステムズ
小林 啓祐	京都大学(名誉教授)
関本 博	東京工業大学
築城 諒	IFE, OECD Halden Reactor Project
内藤 俣孝	株式会社ナイス
仁科 浩二郎	愛知淑徳大学
森 貴正	日本原子力研究所
森脇 正直	(株)日立製作所
山本 敏久	大阪大学

(50音順、敬称略)